

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



健康教育事業部 ボランティアリーダー：大河内 美穂



教職を目指し「将来に繋がるボランティアがしたい」とYMCAに足を踏み入れ、気づけば卒業は目の前に。沢山のかけがえのない経験をさせて頂きました。この4年間、時には悩み立ち止まる事もありましたが、どの瞬間も沢山の笑顔と感謝で溢れていたこと、私にとってYMCAが大切な存在となっていたことは間違いありません。自分の為に始めた活動も今となっては「他者も自分も大切に、愛を届けたい」という気持ちで子どもたちとまっすぐに向き合う私がありました。私が今、私らしく活動出来ているのは、私以上に愛を伝えてくれた温かい子どもたち、最高で最強のリーダーたち、真剣に向き合ってくれたスタッフの皆さん、保護者の方やワイズメンズクラブの方々、YMCAで出会ったすべての人々の存在があってこそです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。4月から大切な思い出と共に新たな環境へ。また沢山の子どもたちに愛を届け、笑顔で会える日を願って。



特集：卒業・卒園メッセージ

仙台YMCA国際ホテル専門学校に入学してから、早いもので2年がたちました。間もなく卒業しますが、時々信じられません。私は、日本のアニメとおもてなし文化が好きで、日本が一番行きたい国でした。ネパールで日本語を3ヶ月ぐらい勉強して、いろいろな試験や面接を受けて、やっと来日できました。日本語学校で1年間、専門学校で2年間を過ごしました。この3年間、私は留学生として多くの課題に直面しました。家族と離れ、まったく新しい国に一人で引っ越すことは、私がこれまでに起こった中で最も挑戦的なステップでした。私だけでなく、私のような他の留学生たちもそうだと思います。私は、今まで家族と長い時間離れたことはありませんでした。来たばかりのころ、言語の壁、社会的および文化的な違い、経済的および学問的な問題などに一人で直面しました。一気に経験したことは、私のメンタルヘルスのストレスに繋がることになりました。諦めて「国に帰りたい」と思うこともありました。しかし、それは私の決断であり、私の明るい未来のために、諦めずに続けなければならないと思い直しました。最初は、戸惑いと孤独の連続でしたが、時間がたつにつれて、さまざまなことと人々について知るようになりました。私は、今まで一人で人生のいろいろな大切なことを学びました。今では自立してとても強くなりました。また、日本人はとても親切なので、私は暖かく尊敬されて、日本人の間でも差別に直面したことは一度もありません。ネパールでは学べなかった多くの新しいことを学び経験しました。日本が私に優しさ、勤勉さ、時間、自立することの意味を教えてくれたことにとても感謝しています。これらの知識と経験は、将来どんな課題に直面しても、私をより強くし、自立させてくれるでしょう。私は、4月から沖縄のハイアットリージェンシーで働きます。将来をもっと良くするために、より多くのことを学び、経験を積み、前進し続けます。



仙台YMCA国際ホテル専門学校 国際おもてなし科2年：ライ アリサ

YMCA 幼稚園 保護者：川野 佐和 さん



YMCA幼稚園には3人兄弟で9年間お世話になりました。初めの説明会か入園式で、先代の園長先生が「卒園の頃には、学年を超えてみなさんが家族のようになりますよ。」とお話されていました。子どもたちや先生方だけでなく、他の学年の保護者の方とも送り迎えやPTA活動を通して、確かに家族のようなあたたかさがこの9年の幼稚園生活にはありました。子どもとの慌ただしい生活の中で、心穏やかでいられない日もたくさんありました。でも、先生方に「そんな一面もあるんですね!？」と言ってもらえると、子どもなりに頑張っているのかなとひと呼吸おくこともできました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。コロナ禍となり登園できない日もありました。その中でもZOOMを使って先生やクラスのお友だちと交流を持ったりと、新しい試みにワクワクしたことも大切な思い出です。(部屋の片付いて見える角度を探したのも思い出です!)長いと思っていた9年もあっという間でした。登園しない日に慣れるのには、少し時間が必要だと思いますが、これまでのあたたかな日々を心に、子どもとともに新しい生活に飛び込みたいと思います。ありがとうございました。

YMCA 南大野田保育園 保護者：千田 倅 さん お母さま



保育園から聞こえる讃美歌。復職の日を思い出すメロディです。子どもと長時間離れる不安、復職の緊張、様々な感情が溢れて涙を堪えながら歩いた切ない記憶も、もう10年前のこと。保育園には、上の子、下の子と10年間お世話になりました。働く親にとって、子どもの成長をともに喜び、見守ってくれる、かけがえのないパートナーでした。健やかな身体と豊かな心を育み、近年はコロナの制約が多い中でも、知恵を絞り工夫を重ねて、のびやかに成長できるよう、日々子どもたちと向き合って下さったことに、深い感謝の気持ちを伝えたいと思っています。この保育園に通えたことは、私たち家族にとって幸運なことの一つです。この春で保育園は子ども園になるとのこと。保育を取り巻く状況も変化の渦中にあるのだと思います。でも、これからも、どんなときもそばで支えてくれる、子どもと親の最高の伴走者で在り続けてほしいと願っています。今までありがとうございました。

YMCA 西中田保育園 保護者：古瀬さん

今、卒園を前にして振り返ると、あっという間の7年間でした。姉妹喧嘩は絶えませんが保育園に通った7年の間で、いつの間にか娘たちはステキなお姉さんに成長していました。長女が一歳児クラスに入園してから次女が卒園を迎える日まで、私自身の環境は色々変わりましたがYMCA西中田保育園はいつも変わらずにありました。何気ない日常の中の娘たちの一言や出来事を笑顔でお話しして下さる保育士さん達に、いつも疲れた心がほっと緩んだ事を覚えています。娘たちはYMCA西中田保育園が大好きで「行きたくない」と言われたことが一度もありません。かくゆう私も大好きでした。もう朝の送りや仕事帰りのお迎えがないのかと思うと寂しい気持ちでいっぱいになります。担任の先生だけでなく園全体で子供たちに寄り添い、耳を傾けていただきとても伸び伸びと成長したように思います。たくさん思い出をありがとうございました。



YMCA 長町保育園 保護者：角田 美月さん、光さん お母さま

YMCA長町保育園の開園当初から入園し、早くも3年がたち長女が卒園を迎えました。知人のお子さんがYMCAに通っていたこともあり、以前から『子どもの自主性を高めてくれる保育園』というお話を聞いておりました。実際入園すると“身の周りにある物を遊びの道具にする”などを重視していて感心させられました。人見知りで引っ込み思案な娘を最初は心配しておりましたが、日々過ごしていく中で、やってみてみたい！と思ったことに対し意欲的に行動しはじめたようで、意見を出しながらイメージをたくさんふくらませ、遊びにのめり込んでいったという話を先生から聞いた時は本当に驚きました(恐竜博物館etc)。遊びの中で“これはどうして？”など、自分たちで興味や疑問をもち考えてはとことん試して学んでいくという貴重な経験は、YMCAにいたからこそ強く育まれたと思います。先日参加した卒園式では、緊張しながらも姿勢正しく立派に卒園証書をもってはにかんだ娘を見て、誇らしく思ったと同時に涙が込み上げてきました。また、目をぎゅっと瞑って神様に一生懸命祈りを捧げている姿を見て、人として大事な感謝の心がしっかりと身についていると感じ、嬉しく思いました。保育園の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。温かく見守って下さり本当にありがとうございました。引き続き年少になる息子もよろしくお願いたします。



YMCA 加茂保育園 保護者：菅原 菜穂子さん お母さま



我が家とYMCAのお付き合いは8年になります。

年子のお兄ちゃん達を加茂保育園にお願いしたのが始まりです。泣く子を朝から晩まで預け仕事に向かうのが心苦しかった当初。気付いたら延長保育の最後のお迎えになることもしばしば。しかし、いつしか帰ることを嫌がるほど保育園が大好きに。それは三人兄妹みんなに共通することでした。保育園という2つめの家で、我が子たちに信頼できる人が出来て安心して過ごしているんだと感じました。コロナ時代となり世間ではマスク着用の低年齢化が推奨される中でも、子どもたちが本来送るべきマスクをしなくてもいい環境で大人の手の温もりに包まれ、友だちの表情に触れ、この時期でしか出来ない体験を可能な限り経験させて頂いたこと本当に感謝しております。お迎えに行く時に我が子だけでなく、子どもたちみんなから「楽しい！嬉しい！」の気持ちがあふれる姿を見るのが好きでした。これからも家庭のように子どもたち、保護者が寄りかかれる場所であってください。本当にありがとうございました！

放課後等デイサービスみらい・きぼう ボランティアリーダー：佐々木 陽和 さん



私は放課後等デイサービスみらい・きぼうで約2年間リーダーとして活動しました。素敵なメンバーとリーダーの皆さんに支えられ、楽しく、学びの多い充実した時間を過ごすことができました。私が活動をする中で、特に嬉しかったことは、メンバーとの関係が深まったと感じた時です。初めは、私が話しかけても距離をとっていたメンバーが、関わるうちに、一緒に追いかけて笑ってくれた時は嬉しかったです。他にも、メンバーと一緒に遊ぶ中で、楽しそうに笑ってくれたり、「また遊ぼうね」と言ってくれた時はとても嬉しかったです。そして、私は周りのリーダーの皆さんにも支えられました。頼りない私ですが、いつも温かく迎えてくださったリーダーの皆さんには感謝しかありません。私は、本当にYMCAでリーダーをできて幸せでした。みらい・きぼうのメンバーと、リーダーの皆さんの、ますますのご活躍を心よりお祈りしています。本当にありがとうございました！

ご挨拶

桜の開花が待ち遠しい季節を迎え、みなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、本会の諸活動へ賜りました、深いご理解とご支援に感謝を申し上げます。

さて、私儀ながら、誠に恐縮ではございますが、本年3月31日をもって、仙台YMCA総主事の職を辞することとなりましたことをご報告いたします。思えば、1982年4月に本会に入職以来、41年間の長きにわたり、みなさまからご指導賜りましたこと、また、かけがえのない貴重な体験を共にすることが出来ましたことは、大きな喜びでありました。特に、2011年3月11日に発生しました東日本大震災におきましては、津波被災地および原発事故被災地ばかりでなく、本会に対しても多大なご支援と励ましを賜りました。ここに、心より深く御礼を申し上げます。

4月1日より、加藤雄一主事が総主事の責を負うことになり、新しい体制に生まれ変わって仙台YMCAがスタートいたします。全体が若返るとともに、目の前の大きな社会的課題にチャレンジすること、一人ひとりの豊かな人生へ貢献することに全力で取り組んでくれることと信じております。同時に、大きな期待を感じて止みません。

つきましては、引き続き、新生仙台YMCAに、変わらぬご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本当に、ありがとうございました。



仙台YMCA総主事 村井伸夫

column

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

『出会いから40数年 ～リーダーからスタッフそしてワイズメン 佐藤 剛さん』

先日、村井総主事退任式の案内が届きました。同じ西年会として、まだまだと思っていましたが、自分たちにもその時が来たかと、何かほっとしたような、寂しいような複雑な思いです。

私とYMCAとの出会いは、大学2年生の春の頃、横浜YMCAの「リーダー募集」の1枚のポスターからでした。（村井さんとの出会いもその頃）。大学を卒業後、縁あって仙台にスタッフとして、15年間、様々な経験、貴重な人々との出会いを数多くさせていただきました。その後、YMCAで出会った方の紹介で、小さな組織の運営に携わり、また、その組織の方からの紹介で、今の第3の職についています。そしてまた、会合でYMCAの方と再会をしました。時を同じくして、ワイズメンの入会のお誘いも受け、また、YMCAに戻ってきました。

なぜ、またYMCAにと、問われると、YMCAは、人と人とのつながりを大切に、それぞれの立場の人たちが、その立場のあった思いを持って活躍できる場があるからではないでしょうか。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



2022年度ボランティア感謝会



3月12日(日)午後6時45分より2022年度ボランティア感謝会が執り行われました。参加者はユースボランティアリーダー26名、レイパーソン4名、スタッフ16名、合計46名でYMCA会館にて開催され、1部礼拝では日本基督教団石巻栄光教会川上直哉牧師より奨励をいただきました。2部では日本YMCAユースボランティア認証状をユースボランティア委員会加藤研委員長より、12名のユースボランティアリーダーに授与されました。また、3部では3月で卒業する11名のユースボランティアリーダーへ加藤研委員長より感謝状と記念品が授与されました。YMCAの活動は多くのボランティアによって支えられています。YMCA役員の方をはじめ、学生のユースボランティアリーダーなど、年齢や肩書は多様です。特に学生のユースボランティアリーダーは、この3年間新型コロナウイルスにより活動の制限を受け、その状況の中でも、YMCAの活動において自分自身や子どもたちの成長に尽力していただきました。4月からの新しいステージでも、YMCAボランティアで培った力を発揮してくれることを願っています。

(報告：健康教育 / 黒田 敦)